



# まつお 正秀のかわら版

〒660-0858 能登町12-58-108 能登レックスマンション Tel・Fax73-0775

携帯090-6960-4570 議員団控え室 Tel35-3368 Fax22-7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログは「まつお正秀の雑記帳」検索で

## 三つのテーマのうち二つが大きく前進

JR借り上げ住宅では市の冷たさ淨き彫りに

11月27日から開催の12月議会。私は三つのテーマで一般質問を行い、二つのテーマで前進の答弁を引き出しました。

### 生ごみダンボール堆肥化推進へ

前号で紹介した「生ごみのダンボールでの堆肥化」。10月の視察で福岡市のNPO法人の取り組みに触発され、私も現在自宅ベランダで実践中。これまで難点とされていた虫や臭いの発生対策の具体化が進んでおり、自分の体験も含めて市が取り組むように求めたことに対し、このたび、普及に努める」という答弁があり、今後、市が具体化に動き出します。

### JR旧福知山線ハイキング道大きく前進

立ち入り禁止の看板がありながら、多くの人がハイキングに訪れるJR旧福知山線廃線敷き。見事な渓谷や、昔ながらの煉瓦のトンネルや鉄橋なども楽しめます。1.5kmは宝塚市側で、3.2kmが西宮側の計4.7km。宝塚市は市がJRから無償貸与を受けて整備されていますが、西宮市側ではJRが一定の整備を行った上で無償譲渡をしたという申し入れに対し、市は多額の費用負担の可能性などがネックとなり協議は継続中です。今回の私の質問に対し、JRが保有したままハイキング道として一定の安全対

策整備が行われる可能性の答弁が市側からなされ、大きく協議の前進が確認できました。

### 借り上げ住宅は依然冷たい方針変わらず

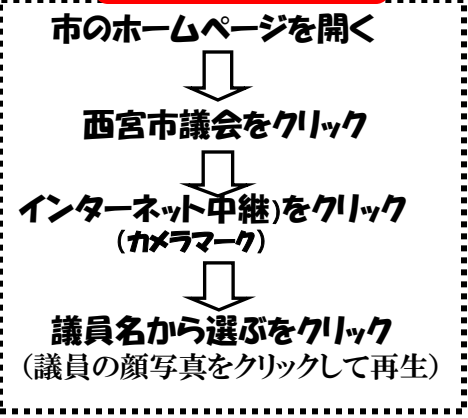
借り上げ住宅問題で市は、今議会で期限後も住んでいる方たちを裁判で追い出す議案を提出。質問では全員転居という県下で最も冷たい方針を批判しましたが、当局は今まで通りの答弁に終始。11日の委員会審査が大きな山場に。結果は次号

### お詫びと訂正

前号(11月)において左の一部文字(濃字)が消えており、正しくは、洞海湾は魚も棲めない公害の街と呼ばれていました」に、お詫びして訂正します。

# 市議会インターネット中継の活用を

## ネット中継の見方



西宮市議会では、この9月議会からインターネット生中継が行われています。録画は4日、5日後に視聴できますので、表面の私の質問（12月3日）もご覧下さい。また、12月議会の一般質問では、今村市長（当時議員）に懂れて当選した新人議員が「返り討ちにあうことを覚悟の上で」として、これまでの今村市長の言動や手法を批判。また、四期目の保守系議員は、元局長が市から民間企業へ就職斡旋を受け、その後、市の影響力を持っているかの如くふるまっていることを指摘。こちらも是非ご覧を。

## 健康あれこれ 47回 ヨガ

私の知り合いの人でヨガを教えている人がいます。このたび、ヨガで心臓や血管の病気を予防できるかもしれないと、米ハーバード大学の医師らが医学誌オンライン版で報告。ヨガを行ったグループでは、何も運動しないグループに比べて、体重の減少、BMI 低下、血圧の低下が見られたそうです。ジョギングなどの有酸素運動とヨガのグループとでは差が見られなかったそうで、同大学の医師は「ヨガの持つリラックス効果が高影響をもたらしている。有酸素運動ができない、または嫌いな人でも、ヨガで心臓血管の病気を予防できるのでは」と述べています。

## 食べ物豆知識 110回 遺伝子組み換え鮭

米食品医薬品局（FDA）は11月19日、遺伝子組み換え技術で通常の二倍の速さで成長する鮭を、食品として販売することを承認したと発表。世界ではさまざまな遺伝子組み換え作物が栽培されて流通していますが、動物での承認は初めてとなります。この鮭は成長が速いキングサーモンの成長ホルモン遺伝子を大西洋鮭に組み込み、少ない餌で効率よく育てることができそうです。FDAは、栄養成分は変わらず安全としていますが、環境保護団体からは「長期に食べた場合の安全性はわからない」との声も。（神戸新聞夕刊）

## まつお正秀のコラム

西宮市議会での二つの会派で動きが。一つは今村市長の出身会派である「蒼士会」が解散し、同じメンバーで新たに「会派・ぜんしん」を立ち上げた事。その理由を会派の幹事長であるS議員が、記者に語った次のような新聞記事を自身のブログで紹介。（今村市長への不信が積もり、信頼関係が成立しないと判断した」と。今回の出来事は、今村市長の議員の時の発言と、市長になってからの発言や態度のあまりの乖離に、市長出身会派というイメージを取り払いたかったからの様です。多くの若手議員が今村議員に懂れ、政策にも共感してきたのに、その人間性や、公約をないがしろにする今の姿が、みんなが離れて行く要因になっている模様です。

もう一つは「維新の党議員団」が「維新」への名称変更。三名の会派ですが、中央の分裂の影響で東京系と大阪系に分かれたことから、苦肉の策としての名称変更みたいです。

いずれにしても、我々は今後も中身重視で対応してまいります。